



『誰か』のことじゃない

法務省の人権擁護機関では、啓発活動の重点目標を掲げ、重点的な人権啓発活動を実施しています。今年度の啓発活動重点目標は、「『誰か』のことじゃない」。この重点目標の下、強調事項として掲げる17の項目を中心に、人権への正しい理解を呼びかけています。

「『誰か』のことじゃない」

このキャッチコピーには、様々な人権問題について、自分以外の「誰か」のことではなく、自分自身のこととして捉え、人権を尊重することの大切さについて考えてほしいという思いが込められています。

また、法務省では、国内での人権課題として、以下の17項目を啓発活動強調事項として掲げています。



- ! (1) 女性の人権を守ろう
- ! (2) 子どもの人権を守ろう
- ! (3) 高齢者の人権を守ろう
- ! (4) 障害を理由とする偏見や差別をなくそう
- ! (5) 部落差別（同和問題）を解消しよう
- ! (6) アイヌの人々に対する偏見や差別をなくそう
- ! (7) 外国人の人権を尊重しよう
- ! (8) 感染症に関連する偏見や差別をなくそう
- ! (9) ハンセン病患者・元患者やその家族に対する偏見や差別をなくそう
- ! (10) 刑を終えて出所した人やその家族に対する偏見や差別をなくそう
- ! (11) 犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう
- ! (12) インターネット上の人権侵害をなくそう
- ! (13) 北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう
- ! (14) ホームレスに対する偏見や差別をなくそう
- ! (15) 性的指向及び性自認（性同一性）を理由とする偏見や差別をなくそう
- ! (16) 人身取引をなくそう
- ! (17) 震災等の災害に起因する偏見や差別をなくそう



人権イメージキャラクター
人KENまもる君・人KENあゆみちゃん

人権をめぐる課題は多方面に渡ってあります。まずは、互いの違いを認め合い、相手の気持ちを考え、思いやることのできる心を育むことが大切です。そのためにも、さまざまな物事を自分事として捉え、考えること、学ぶことをこれからも大切にしていきたいと思います。

道徳の取り組み内容

◎1年生：「短文投稿サイトに友だちの悪口を書くと」

教材 イチロウは掃除に遅れてきたことをナオコに注意され、腹を立てる。短文投稿サイトに悪口を書くというイチロウに、友人のコウタはつい同意してしまう。コウタは短文投稿サイトの危険性を説明して、やめるように説得できなかったことを後悔する。



○自分にとっても関係があったと思う。みんなから信頼されなければ、自分の言ったことにみんなが動いてくれないし、みんながついてきてくれないと思います。日々の積み重ねをしっかりとしていこうと思いました。

○ダメなことはダメって言い合える関係でいたいと思いました。信頼できる友だちを作っていきたいと思います。

○たまに「違う」と思っているけど「そうだね」と言ってしまうことがあるから、今度からは自分の意見はしっかりと伝えるようにしたいと思いました。

◎2年生：「ゴール」

教材 バスケットボール部に所属する5人の中学生の物語である。キャプテンの末希は、練習に身が入らないリカに腹を立てる。樹里はリカのことをかばうが、チームの溝はどんどん深まっていく。リカには練習に身が入らない理由があったのだが・・・。



○4人は弟の交通事故のことを知らなくて、態度が悪かったなと思ってしまっても、それを3人でぐちぐち言ったりするのはおかしいと思いました。あわてて早退したリカに対して、何か事情があったのかも考えたりすることができると思いました。1人だけのせいにしてはいけないと思いました。

○良いチームにするためには、やはり相手の気持ちを考えたり、自分を見つめることが大切だと思いました。「自分は今、どう思っているのか」と自分自身を見つめ、それを相手に伝えていくことで友情とか信頼は高まっていくのかと思いました。お互いに思ったことを素直に言い合えるように、まずは自分の気持ちを見直していきたいと思います。

◎3年生：「背番号15が歩んだ道—黒田博樹—」

教材 メジャーリーグでも活躍した黒田選手の話。黒田選手は高校では補欠で、大学進学後に投球方法の改善により頭角を現し、プロ入り後エースとしてチームを率いた。ファンの存在を決して忘れず、海外球団からの高額オファーも断り、古巣球団でリーグ優勝を果たし、惜しまれつつ引退した。



○提出物など、やらなければいけない身近なことを努力すること。そして、周りの人に感謝することで、自分自身を支えてくれるし、成長できると思いました。信念を持つことも大切だと思いました。

○努力をし続ければ報われなくとも何かは変われるのかなと思った。目標があってもそれを達成できなかったときに怖くなりそうだと思っていたけれど、その怖い心を無くせばいいなと思った。

○黒田選手のファンの支え、支えられる関係がすごく良いなと思いました。カープのファンとともに戦っていきたいという強い信念を持った黒田選手だからこそ、たくさんのファンに愛されていたんだと思いました。

